

E Z 転 II — 7 0 0 0

無線操作式反転装置

取扱説明書

ご使用いただく前にこの説明書をお読みの上正しくお使い下さい。
取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管してください。

アールアイ株式会社

〒334-0076 埼玉県川口市本蓮 4-3-45

Tel : 048-280-5505

Fax : 048-280-5510

URL:<http://www.tokyorico.jp>

※この取扱説明書は事前の予告無く一部内容を変更することがあります。

もくじ

1.	はじめに	2
2.	特徴・メリット	2
3.	リース品 納品一覧	2
4.	安全上の注意事項	3
	取扱い全般について	4
	作業前確認について	4
	使用方法について	5
	クレーン操作について	6
	保守・保管について	7
5.	本体各部名称・概算寸法図	8
6.	電気制御部各部名称	9
7.	仕様及び能力	10
8.	本体取扱いについて	11
	保守・保管について	11
	操作について	12
	本体充電	12
9.	赤外線リモコン取扱い・操作について	13
	操作について	13
	赤外線リモコンの充電	13
10.	参考仕様書	14
11.	吊り荷取り付け時の注意事項	15
12.	作業の手順	16
13.	作業終了時・保管	17
14.	使用時の手順・注意点	18
15.	作業流れ図	21
16.	オプションE Z転Ⅱ用天秤使用に当たって	22

1. はじめに

E Z 転Ⅱ-7000 は、PC 板などを水平状態に吊り下げ、赤外線リモコンを操作して PC 板などを垂直状態に反転させる目的で開発した装置です。

2. 特徴・メリット

- ◇ PC 板などを水平状態で吊り上げ、取り付け段階で垂直状態に反転させることができる為、風の影響が受けにくくなります。
- ◇ 空中にて反転させるので PC 板の角等を破損しにくくなります。
- ◇ PC 板等を直接車上で荷取りをして反転操作ができる為、狭い現場での使用に最適です。(相吊りクレーンが不要になります。)
- ◇ 吊り荷 (PC 板自重) が 3ton 以下ならば、吊り上げもでき、荷の傾斜状態の取り付けも可能です。

3. リース品 納品一覧

E Z 転Ⅱ 本体	1 台
(回り止めフック付きゴムバンド 2 組・本体チェーン 1 組含む)	
付属品	付属品収納ボックス 1 箱
	赤外線リモコン 2 台
	赤外線リモコン充電器 2 台
	取扱説明書及び始業点検表 1 冊

4 安全上のご注意



E Z 転Ⅱ-7000(以下、吊り治具と言う)を安全にご使用いただく為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくお使いください。

E Z 転Ⅱ-7000 の使い方を誤りますと、予期せぬ動作により重大事故をまねいたり、誤動作などの危険な状態になります。

作業される方に「クレーン等安全規則」「貴社の作業基準」などを教育し、作業される方が、つり具の知識・安全の情報・そして、注意事項のすべてについて習熟されたことを確認の上、作業に従事させてください。

「玉掛け安全協議会」では、この取扱説明書に使用する注意事項を「危険」「注意」の2つに区分しています。

お読みになった後は、お使いになる方が、いつでもご覧になれるところに必ず保管してください。

 危険	取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起りえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
 注意	取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起りえて、中程度の障害や軽症を受ける可能性が想定される場合、および物的損害が想定される場合。

なお、**注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも、重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。

● 記号の説明

- 記号は、危険・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が記載されています。

危険 注意

(右図の場合は挟まれ注意)

禁止

記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

指示

記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が記載されています。

(右図の場合は2点つり)

取り扱い全般について

これより、取り扱いについて記載しますが、全てを網羅することはできないため記載されていない事項については、使用できないと考えてください。

危険	
<ul style="list-style-type: none"> ● 取扱説明書、及び「注意ク」又は、注意銘板の内容を熟知していない人は使用しないでください。 ● 法定資格のない人は、絶対にクレーン操作、玉掛け作業をしないでください。 (クレーン等安全規則第 221 条・第 222 条) ● つり上げ運搬中は、つり荷の落下・転倒範囲内に立ち入らないでください。 (クレーン等安全規則第 28 条・第 29 条) ● 操作の仕方は、手順どおりに正しく使用し、間違った使い方をしないで下さい。 ● 吊り治具に溶接機のアースを接続しないで下さい。 ● 吊り治具に溶接用電極を絶対に接触させないで下さい 	禁止
<ul style="list-style-type: none"> ● 作業開始前の点検や定期点検を必ず実施してください (クレーン等安全規則第 217 条・第 220 条) 	指示

作業前の確認について

危険	
<ul style="list-style-type: none"> ● 運転と操作に必要な教育を受けていない人には、使用させないでください。 ● 吊り治具に変形・亀裂・作動不良・ボルト、ナットの緩み・脱落等のあるものは、使用しないでください。 ● つり荷の玉掛け部に変形・き裂のあるものには、使用しないでください。 ● 天候の情報には充分留意し、強風・雷・大雨等のときには使用しないでください。 ● 吊り治具のテスト運転時、異音がする物は使用しないで下さい 	禁止
<ul style="list-style-type: none"> ● 高所作業は、作業責任者の指揮にしたがってください。 ● つり荷の玉掛け部の形状は、つり上げ荷重に充分耐えうる強度を有すること。 ● つり荷のつり荷重が、使用するつり具の基本使用荷重の許容範囲内であること。 ● つり荷の板厚が、使用するつり具の許容範囲内であること。 ● 玉掛け作業に従事される人は、玉掛け作業に適した服装をしてください。 ● PC板などの吊り部（金具）・ワイヤーロープ等の器具と反転時の吊り荷強度は、必ずご確認下さい。 ● 吊り治具のロードチェーンのトンボ（よじれ）がないか確認して下さい。 	指示

注意	
<ul style="list-style-type: none"> ● 吊り治具に取り付けられた注意タグ、又は 注意銘板を取り外したり、不鮮明なまま使用しないでください。 ● 環境の条件が次の場合は、吊り治具を使用しないで下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ つり荷の温度が 150℃以上の高温、及び -20℃以下の低温。 ・ 酸・アルカリ等の溶液中、及び 雰囲気中。 	禁止
<ul style="list-style-type: none"> ● ご使用前に必ず本体の赤外線受光器面・リモコンの発光面を清掃して下さい。 	指示

使用方法について

危険	
<ul style="list-style-type: none"> ● 被つり上げ物の上に乗ったり、被つり上げ物の上で作業することは絶対にしないでください。 ● 吊り治具で鋼矢板の引き抜き等には使用しないで下さい。 ● 吊り治具本体に強い衝撃を与えないで下さい。 ● ロードチェーンは、吊り荷に巻き付けて使用しないで下さい。 	禁止
<ul style="list-style-type: none"> ● 吊り治具の取付は、つり荷のバランスを保つ位置に取りつけ、吊り治具及び つり荷の安定を図るようにして下さい。 	2点吊
<ul style="list-style-type: none"> ● 無線操作 又は 玉掛け操作を高所で行う作業者は、安全帯を装着し、墜落防止策を確実に施行した後、安定した足場・姿勢で作業を行ってください。 ● 玉外し作業を行う場合は、つり荷が確実に固定されていることを確認の上、行ってください。 	指示
注意	
<ul style="list-style-type: none"> ● 吊り治具を倒したり、引きずったりしないでください。 ● 吊り治具を使用中は、つり荷に溶接作業を行わないでください。 ● 赤外線リモコンは、落下など強い衝撃を与えますと故障の原因となります。 	禁止
<ul style="list-style-type: none"> ● 赤外線リモコンは、水がかかる所（雨天など）での使用は、必ず防水対策を行って下さい。 	指示

クレーン操作について

危険	
<ul style="list-style-type: none"> ● 吊り治具の基本使用荷重を越えるつり荷は、絶対につり上げないでください。 ● つり荷やつり具に衝撃荷重が働くようなクレーン操作はしないでください。 ● 吊り治具で地球つりをしないでください。 ● 無線操作中は、クレーンを動かさないでください。 ● つり荷は、人の頭上を越えて運搬しないでください。 ● つり荷の昇降作業時は、つり荷を振らせないでください。 ● つり荷から取り外したつり具を再度つり荷に引っかけたり隣接の部材に当てないでください。 	禁止
<ul style="list-style-type: none"> ● 運転中は、気をそらさないでください。 ● クレーンで巻き上げるときは、つり荷の荷重がかかった時点でチェーンの捩れの有無・ロック状態の安全確認を行ってください。 ● 着地前に一旦停止し、つり荷の傾き、転倒、及び着地場所とその周辺の安全確認を行ってください。 	指示
注意	
<ul style="list-style-type: none"> ● 斜め引きや、つり荷を引きずるような操作はしないでください。 ● 吊り治具でつり荷をつったまま、クレーン(巻き上げ装置等)の運転位置から離れないでください。 	禁止
<ul style="list-style-type: none"> ● クレーンの巻き上げ・巻き下げは、静かに丁寧に行ってください。 ● 吊り治具を使用しないときは、決められた着地場所に置いてください。 	指示

保守・保管・改造について

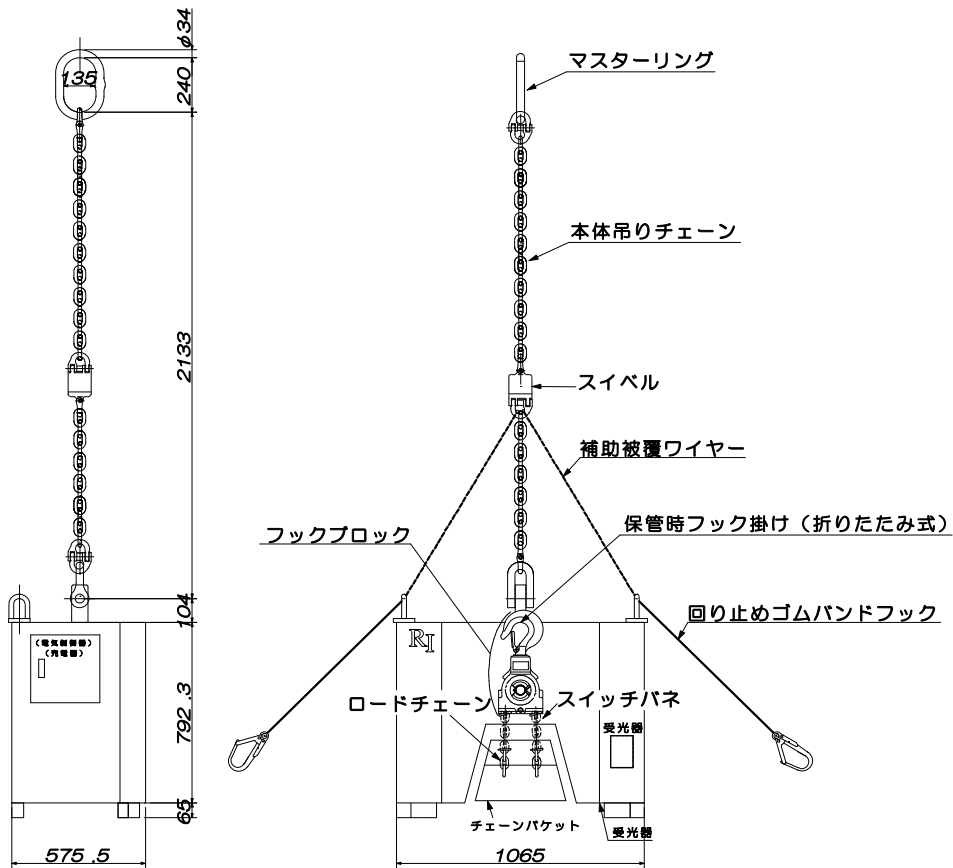
危険	
<ul style="list-style-type: none"> ● 吊り治具、及び 付属品の改造は絶対にしないでください。 ● 吊り治具、及び 付属品に溶接・加熱等を行わないで下さい。 ● 当社製純正部品以外は、絶対に使用しないでください。 ● 修理が必要なつり具は、別の場所に保管し、誤って使用されないようにしてください。 ● 吊り治具、及び付属品に損害・変形・欠品を発見した場合には、使用しないで下さい。 ● 吊り治具で吊り荷を吊ったまま放置しないで下さい。 	禁止
危険	
<ul style="list-style-type: none"> ● 保守点検・修理等を行う場合は、事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。 ● 保守点検・修理等を行う場合は、つり具の電源を必ず「OFF」【切り】にして行ってください。 ● 保守点検で異常があったときは、そのまま使用せずただちに補修、又は、廃棄してください。 ● 保守点検を行う場合は、必ず、つり具を安定した場所に着地させ、周囲の安全を確かめた上で行ってください。 ● 吊り治具及び 付属品の充電時は、雨水等(多湿)が絶対かからない様にして下さい。 ● 吊り治具及び 付属品に充電を行う場合は、周囲に火の気のない場所で行ってください。 ● 保管時は、ロードチェーンが踏まれたり、ねじれない様にロードチェーンを短くし、フックは本体のフック掛けに掛けて下さい。 ● 吊り治具特にロードチェーンは、砂・セメントなど堆積がない様、常に保管・清掃し注油して下さい 	指示
注意	
<ul style="list-style-type: none"> ● 保守点検・修理等を行う場合は、必ず空荷(つり荷がない)の状態で行ってください。 ● 吊り治具は、必ず、屋内もしくはビニールシート等の防水カバーで覆い、保管してください。 (粉塵が多い所での保管は避けて下さい。) ● 保管時は、つり具本体、及び 無線リモコン等すべての電源を必ず「OFF」【切り】にしてください。 ● 吊り治具保管は、砂利地・砂地・水たまりは避け、平らな所に置いて下さい。 	指示

適用法則「E Z 転Ⅱ」のご使用に対し法規則上特段の規則はありません。

しかし、安全確保の為「クレーン等安全規則」をご参考の上、「保守管理を実施し、また作業の方々に玉掛け技能や、クレーンの運転教育を実施して頂くことをお勧めします。

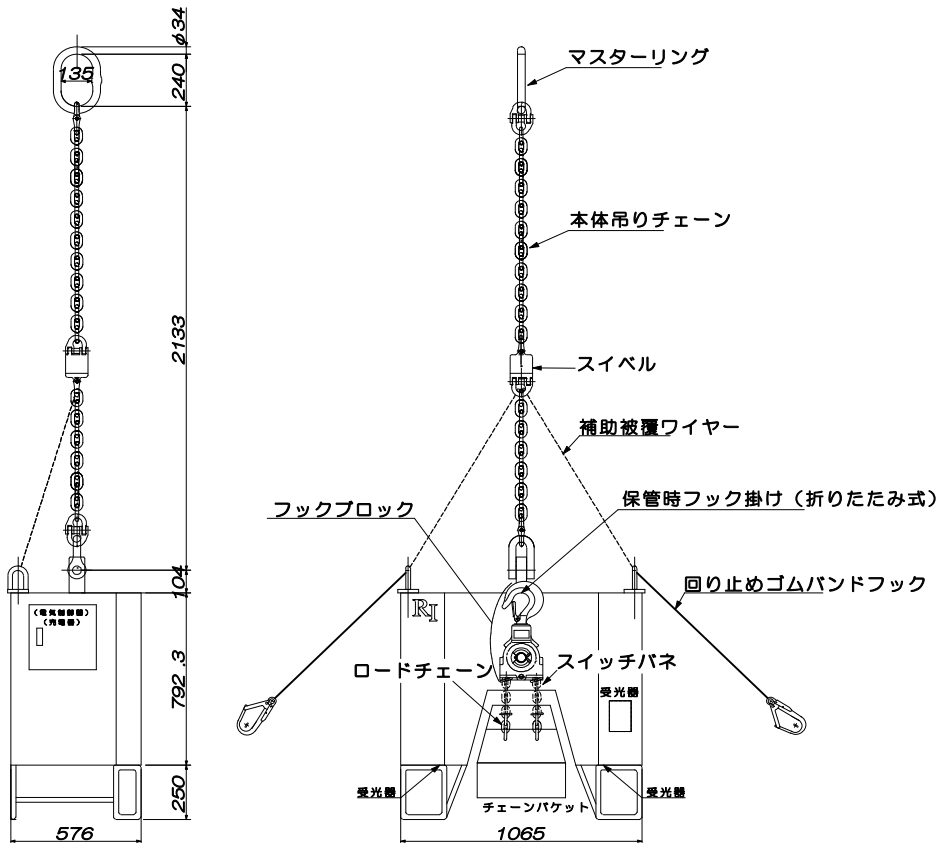
5. 本体各部名称・概算寸法図

E Z 転 II 7000 反転 5m 使用 自重約 480kg

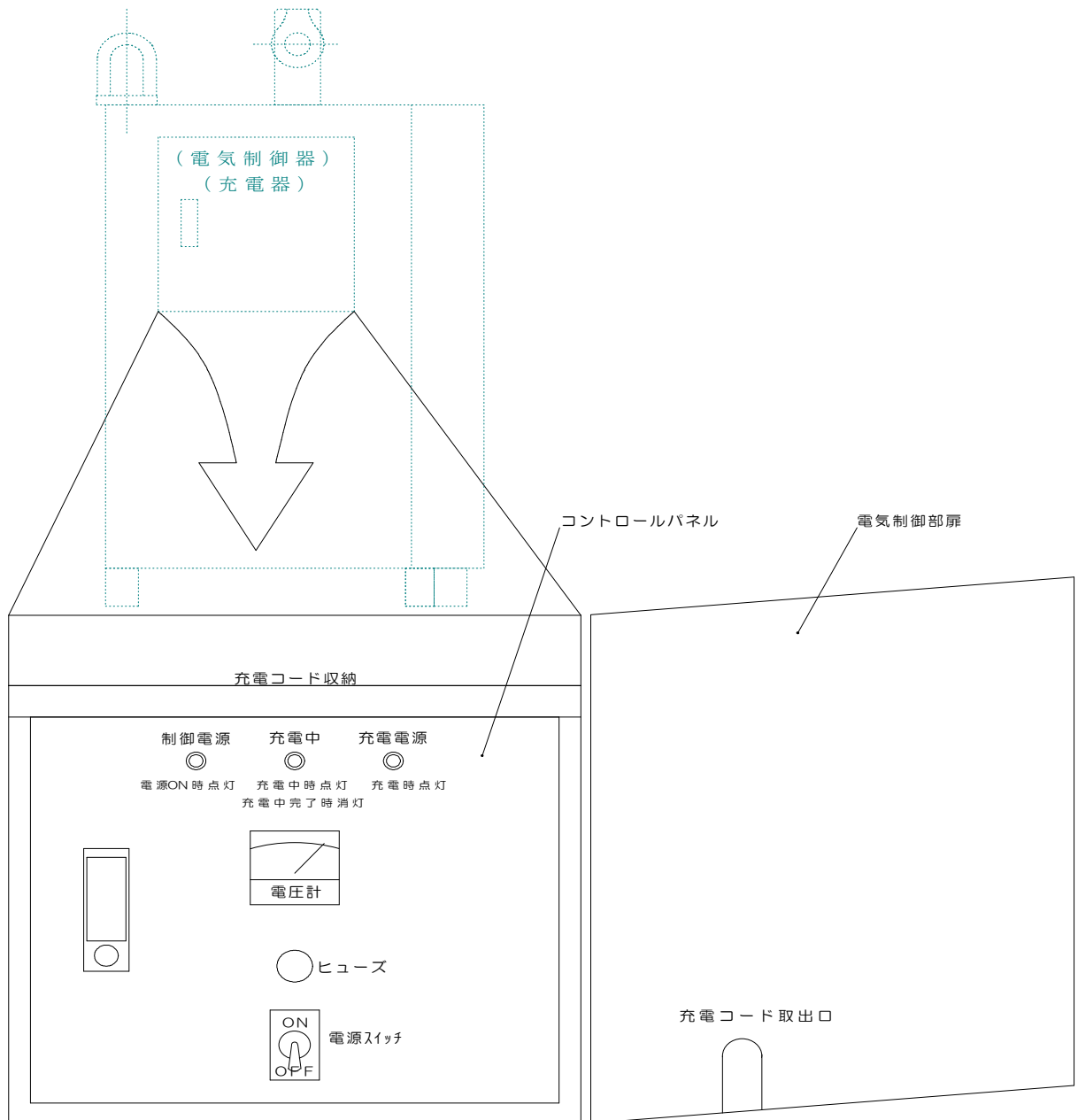


5m仕様でも本体が下図の形状の物もございます。

E Z 転 II 7000 反転 11m 使用 自重約 600kg



6.電気制御部各部名称



制御電源スイッチをONにすると制御電源ランプが点灯します。
 充電コードを接続すると充電電源ランプと充電中のランプが点灯します。
 終了時は充電中ランプが消灯します。

※ 機種によって充電コードを接続すると充電中のランプのみが点灯し
 充電終了時に消灯 充電完了ランプが点灯します。

7.仕様及び能力

E Z 転Ⅱ—7000 本体

反転荷重（吊荷荷重）	吊下げ（下降）最大反転荷重	7 t o n
	吊上げ（上昇）最大反転荷重	3 t o n

※ 定格を超える荷重が掛かりますとモーターに過電流が流れ警報装置が作動しブザーが鳴り（約4秒）ます。約20秒間全ての機能が停止します。（リモコンも）20秒後自動復帰します。

反転チェーン長さ 5 m仕様及び12 m（常用11 m）仕様

寸法 別紙P—8参照

概算自重 5 m仕様 480 k g
12 m（常用11 m）仕様 600 k g

動力源 シールバッテリーDC12V／38AH 6個
充電器内蔵 入力AC100V 出力DC24V10A

操作方法 赤外線光リモコン式
受光距離30 m

反転作業能力

吊下げ（下降）	
5 m仕様	日／約22ピース
12 m（常用11 m）仕様	日／約12～20ピース
吊上げ（上昇）	
上昇距離1 m以内	日／約16ピース

速さ 約4 m／分（無負荷時）

※ 反転荷重・反転距離によって日のピース数は変わります。

8.本体取り扱いについて

危険 禁止 指示

- ◇吊り治具の基本使用荷重を越えるつり荷は、絶対につり上げないでください。
※定格を超える荷重が掛かりますとモーターに過電流が流れ警報装置が作動しブザーが鳴り（約4秒）ます。約20秒間全ての機能が停止します。（リモコンも）
20秒後自動復帰します。
- ◇定格反転間隔を超える荷は吊らないで下さい。
- ◇吊り荷がよく見える位置で操作して下さい。
- ◇吊り荷の下や、吊り荷の動く範囲に入らないで下さい。
また、人の頭上を越えて荷を運搬しないで下さい。
- ◇無線操作 又は 玉掛け操作を高所で行う作業者は、安全帯を装着し、墜落防止策を確実に施行した後、安定した足場・姿勢で作業を行ってください。
- ◇吊り治具に溶接機のアースを接続しないで下さい。
- ◇吊り治具に溶接用電極を絶対に接触させないで下さい
- ◇吊り治具で鋼矢板の引き抜き等には使用しないで下さい。
- ◇吊り治具本体に強い衝撃を与えないで下さい。
- ◇ロードチェーンは、吊り荷に巻き付けて使用しないで下さい。
- ◇吊りチェーン・ロードチェーンのよじれ・トンボを必ず確認して下さい。
- ◇損傷を受けたり、異音がする「E Z 転Ⅱ」を使用しないで下さい。
- ◇玉外し作業を行う場合は、つり荷が確実に固定されていることを確認して下さい。
- ◇つり荷を吊ったまま長時間放置しないで下さい。

注意 禁止 指示

- ◇吊り治具を倒したり、引きずったりしないでください。
- ◇吊り治具を使用中は、つり荷に溶接作業を行わないでください。
- ◇必要以外は、本体のカバーは取り外さないで下さい。
- ◇使用するクレーンフックにマスターリングが入るか確認して下さい。
- ◇玉掛け用具は、フック・シャックルなどに正しく掛けて下さい。
- ◇ご使用前にフックが円滑に回転するか確認して下さい。
- ◇ご使用前に必ず本体の赤外線受光器（受信機）面を清掃して下さい。

保守・保管について

危険 禁止 指示

- ◇E Z 転Ⅱ（本体・チェーン）に損害・変形・欠品を発見した場合には、使用しないで下さい。
- ◇E Z 転Ⅱ（本体・チェーン）及び付属品の改造は絶対にしないで下さい。
- ◇チェーンの切断、継ぎ足しは絶対に行わないで下さい。
- ◇純正品以外は、絶対に使用しないで下さい。
- ◇点検・修理を実施する前に必ず電源を遮断して下さい。
- ◇保守点検で異常箇所があった時は、そのまま使用せず直ちに当社にご連絡下さい。
- ◇本体保管は、砂利地・砂地・水たまりは避け、平らな所に置いて下さい。

注意 禁止 指示

- ◇本体、特にロードチェーンは、砂・セメントなどが堆積がない様、常に保管・清掃し注油して下さい。
- ◇保管時は、ロードチェーンが踏まれたり、ねじれたりしまい様にロードチェーンを短くし、フックは本体のフック掛けに掛けて下さい。（ねじれ・トンボ確認）
- ◇本体電源 OFF を確認の上、扉を閉めて下さい。（作業前日充電のこと）
- ◇保管時は、ブルーシート等でカバーして下さい。

操作

- ①制御ボックスの扉を開き制御電源スイッチをONにします
(制御電源ランプが点灯を確認)
- ②吊りチェーン・ロードチェーンのよじれ・トンボを必ず確認
- ③マスターリングをクレーンフックに取り付けます。(寸法確認)
- ④本体の向きを確認しセットして下さい。
- ⑤本体回り止めバンドをセットして下さい。
P-14 参考仕様図を確認して下さい。
P-15 注意事項を確認して下さい。
P-16 作業手順を確認して下さい。

本体の充電

危険 禁止 指示

- ◇充電時必ず制御電源スイッチは、OFF にして下さい。
- ◇充電コードの電源プラグは濡らさない様にして下さい。

注意 禁止 指示

- ◇ご使用前日及び、電圧計が24V以下の時は必ず充電を行って下さい。
満了時約26Vです。
 - ①本体の充電は制御ボックスの扉を開き制御電源スイッチOFFを確認して充電コードを 収納ボックスより取り出しAC100Vに接続して下さい。 自動で開始し終了致します。
 - ②充電コードを接続しますと充電電源ランプと充電中のランプが点灯します。
終了時は充電中ランプが消灯(充電容量120%)します。
- ※ 機種によって充電コードを接続しますと(約5秒位しますと)充電中のランプのみが点灯し
充電終了時に消灯 充電完了ランプが点灯します。

充電コードをAC100Vに接続してもランプが点灯しない時は、分電盤・延長コード
充電コードプラグをもう一度確認して下さい。

充電容量目安としてリモコンにて作動中、電圧計が25V以上あれば充電容量としては、
90%前後と判断できます。

- ③充電コードは、扉下部中央の取り出し口から取り出し、扉は必ず閉めて充電を行って
下さい。

使用頻度によりますが目安としては、充電時間約8時間です。

9.赤外線リモコン取り扱い・操作について

危険 禁止 指示

- ◇使用者管理者以外勝手に持ち出し、操作されないよう保管、管理をきちんとして下さい。
- ◇赤外線リモコンは、落下など強い衝撃を与えますと故障の原因になります。
- ◇赤外線リモコンは、防塵、防滴でないので粉塵がすごいところや水がかかる場所（雨天など）の使用は、必ず透明ビニール袋に入れるかなどの対策をしてください。
- ◇赤外線リモコンは、2台付属しておりますので、取り扱いには十分注意してご使用して下さい。
- ◇下降操作中に上昇スイッチを急に押さないで下さい。操作しますと、荷重の2倍を超える大きな負荷が瞬時にかかり装置の故障につながりますので一旦停止を確認の上操作して下さい。

注意 禁止 指示

- ◇赤外線リモコンは、高温、多湿、火気、水のかかる所、直射日光が当たる所での放置・保管は避けてください。
- ◇赤外線リモコンの上部発行部は、常に、清掃をして下さい。
- ◇赤外線リモコンのPOWER を押し電源をON にしますと、BAT. ALM ランプが点灯しますので、確認して下さい。

操作

赤外線リモコンの上部発光部を本体の受光器（本体赤枠部）に必ず向けて降下ボタンまたは、上昇ボタンを押し続けて作動いたします。（表示が巻上・巻下のものもございます）（ボタンを離すと作動停止します）

もう一度、赤外線リモコンのPOWER を押しますと電源がOFF になります。

BAT. ALM ランプが消灯しますので、確認してください。

受信距離は、約30mです。

オートオフ機能は、約4分間各ボタン操作を行わないと自動的に電源が切れます。

赤外線リモコンの充電

各部名

称・概算寸法図

危険 禁止 指示

- ◇専用充電器以外で充電しないで下さい。

注意 禁止 指示

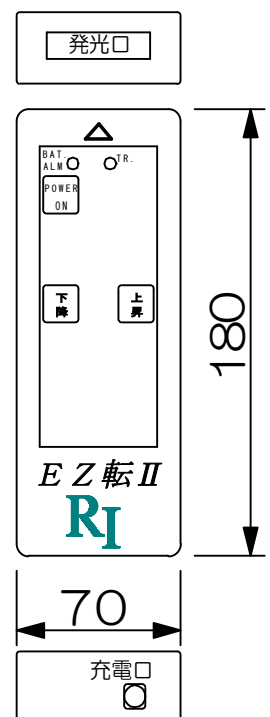
- ◇作業日前及びBAT. ALM ランプが点滅時は、必ず充電して下さい。

充電時必ずスイッチは、OFF を確認し（BAT. ALM ランプが消灯）、カバーの底部を開き、本体底部の充電コネクタに専用充電器のプラグを差し込んで下さい。

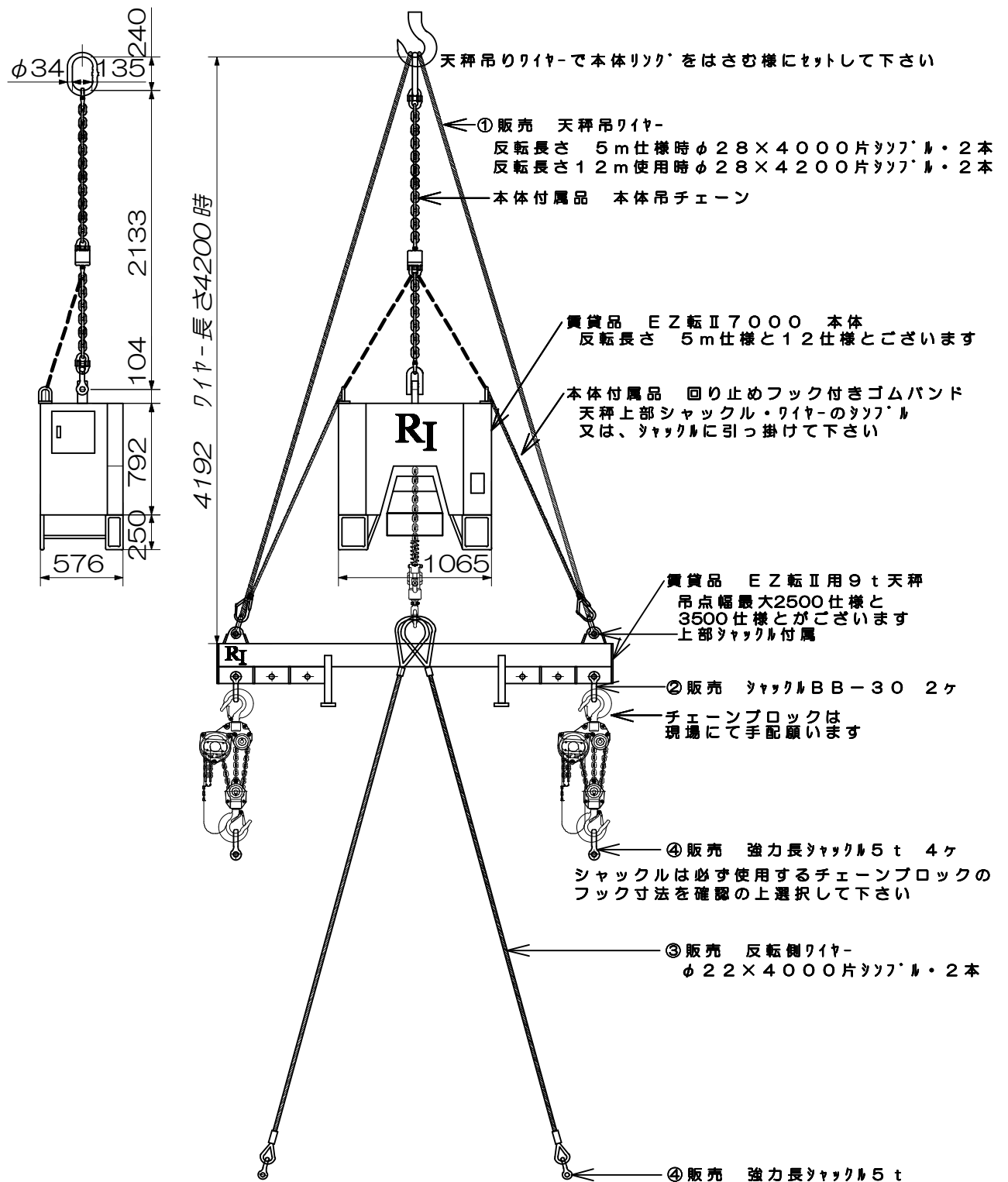
自動で開始し終了いたします。充電時間約8時間

本製品は、DC3.6V のニカド電池が使用されており、

満充電されている場合、約連続20時間使用可能です。



10.参考仕様図

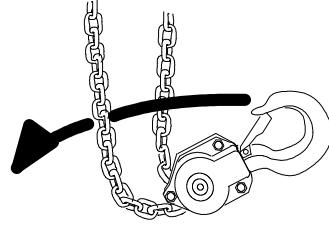


あくまでも参考図です。

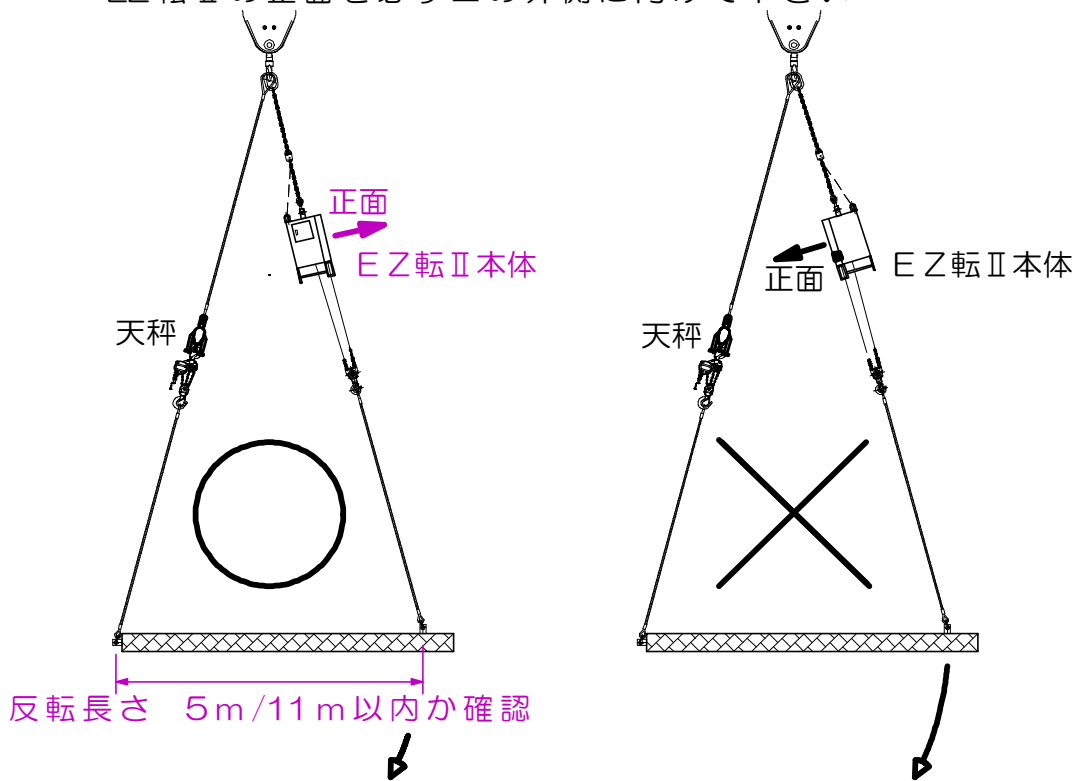
注) : EZ転II-7000図は12m仕様です

1.1.吊り荷取り付け時の注意事項

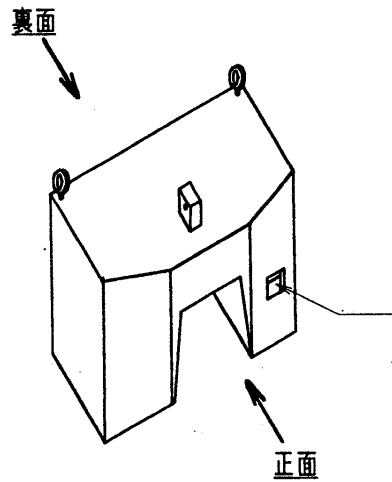
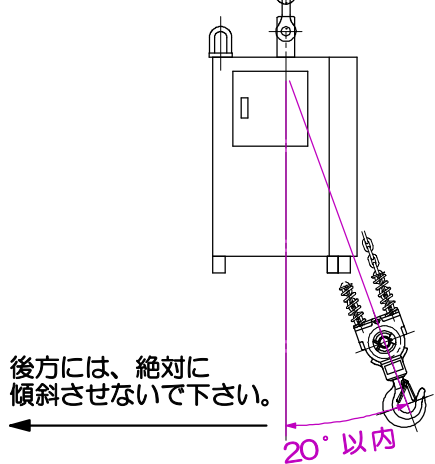
チェーンのねじれ・トンボしていないかを確認



EZ転IIの正面を必ず△の外側に向けて下さい



チェーン傾斜方向は、本体前方向0°～20°以内までとする事。



1 2.作業の手順

吊り荷の最大荷重の確認 巻き下げ最大 7 t o n ・巻き上げ最大 3 t o n
反転吊り最大点間隔の確認 最大反転距離 5 m ・ 1 2 m (常用 1 1 m)
マスターリングがクレーンフックに入るか確認

①始業点検表に基づいて点検を行って下さい。(点検表にて)

②電気制御装置の扉を開けて電圧計が、24V 以上か確認して電源を ON にして、
充電ケーブルに注意して電気制御装置の扉を閉めて下さい。
(24V 以下の場合は、充電を行ってから使用して下さい。)

③クレーンフックに EZ 転Ⅱ 本体を取り付けて下さい。

取り付け方

クレーンフックに用意した天秤の玉掛けワイヤーを取り付け、次に
EZ 転Ⅱ 本体の専用チェーンのマスターリングを取り付け、最後に天秤の
玉掛けワイヤーを取り付けます。

◇EZ 転Ⅱ 本体専用チェーンのマスターリングを天秤の玉掛けワイヤー挟むようにして取り付けて
下さい。絡ませて取付け使用は危険です。

④EZ 転Ⅱ 本体の上部両端のアイボルトに取り付けてある本体回り止めゴム先端のフックを
PC 板吊り天秤の上部シャックルに取り付けて下さい。

(短いときには現場にある足場ハンズなどで長さ調整をして下さい。
左右均等でお願いします。)

⑤EZ 転Ⅱ のチェーンフックに玉掛けワイヤーを取り付けて下さい。

⑥PC 板吊り天秤の下部に必要なに応じてシャックルと玉掛けワイヤーと調節治具 (チェーンブロック
など) を取り付けて下さい。

◇EZ 転Ⅱ 本体の側面に取り付けてある受光口 (受信機) が PC 板取り付け時、建物側に向くよう注
意して吊り上げ物 (PC 板など) にセットして下さい。

◇EZ 転Ⅱ 本体のロードチェーンは、正面方向のみ引っ張るようにして下さい。
チェーンバケット方向に引っ張りますと損傷の原因となります。

⑦ 全ての用意ができましたら、ゆっくりと吊り上げ物の所まで移動させ、EZ 転Ⅱ 本体の側面に取
り付けてある受光口 (受信機) が PC 板取り付け時、建物側に必ず向くように注意して吊り上げ
物にセットして下さい。

⑧PC 板等のセットは、PC 板上部吊り金物に天秤下部の玉掛け用具を取り付け PC 板下側の吊り金物
に EZ 転Ⅱ のチェーンフックに取り付けた玉掛けワイヤーを取り付けて下さい。4 点が均等になる
ようにして下さい。

⑨全ての玉掛け確認と周囲の安全を確認後、ゆっくりと吊り上げ反転させたい位置にて
赤外線リモコン上部を受光口に向けてリモコン操作して反転させてください。

(受信到達距離約 30m)

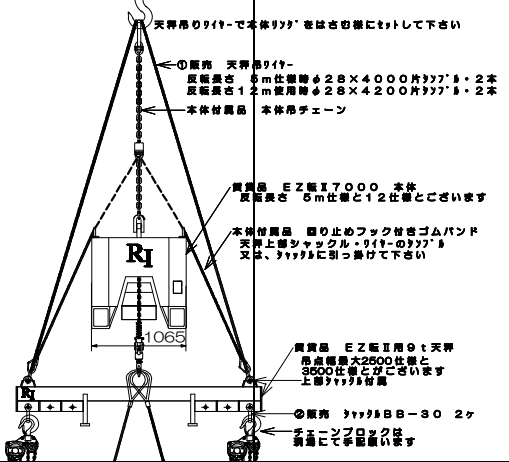
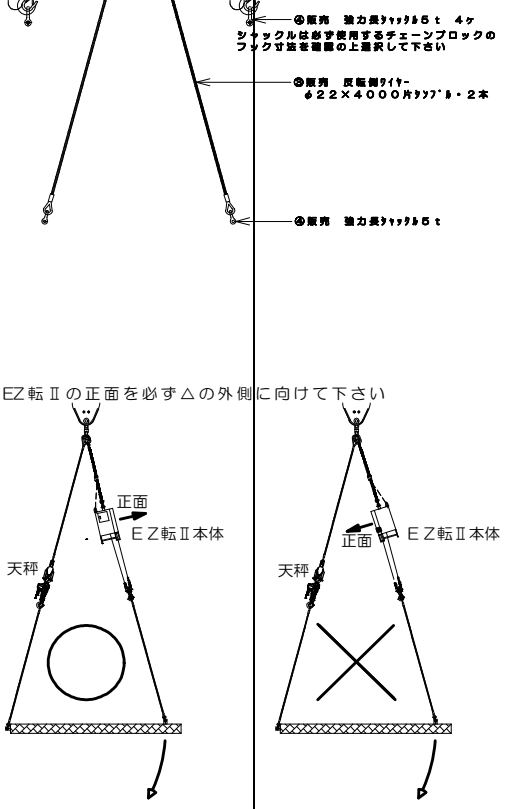
⑩反転後、EZ 転Ⅱ のチェーンフックに取り付けた玉掛けワイヤーが邪魔になる時には、吊り金具を
取り外してからリモコンにて巻き上げたりして、調整してください。

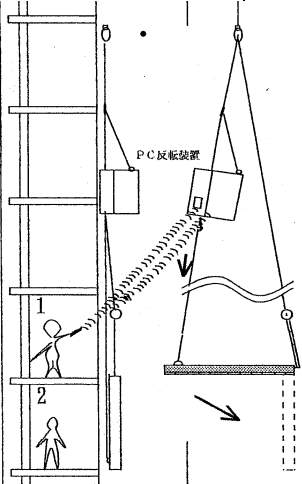
⑪部材取付時は、架設材などに当たらないよう注意して行って下さい。

1 3.作業終了時・保管

- ① EZ 転本体の保管は、砂利地・砂地・水溜まりは避け、平らな所に置いてください。
- ② EZ 転本体・特にロードチェーン部は砂・セメント等堆積が常がない様にし、保管・清掃及び注油してください。
- ③ 保管時は、ロードチェーンが踏まれたり、ねじれたりしない様にロードチェーンを短くし、フックは本体のフック掛けに掛けてください。
- ④ 本体電源 OFF を確認の上、扉を閉めてください。
- ⑤ 使用前日は必ず充電を行って下さい。充電時も充電コード取出し口よりコードを取り出し、扉を閉めてください。
- ⑥ 赤外線リモコン・充電器は、高温・多湿・火気付近・水がかかる所・直射日光が当たる所・粉塵が多い所での保管は避けてください。
- ⑦ 赤外線リモコンの電源 OFF を確認し、充電を行って下さい。

1 4.使用時の手順・注意点

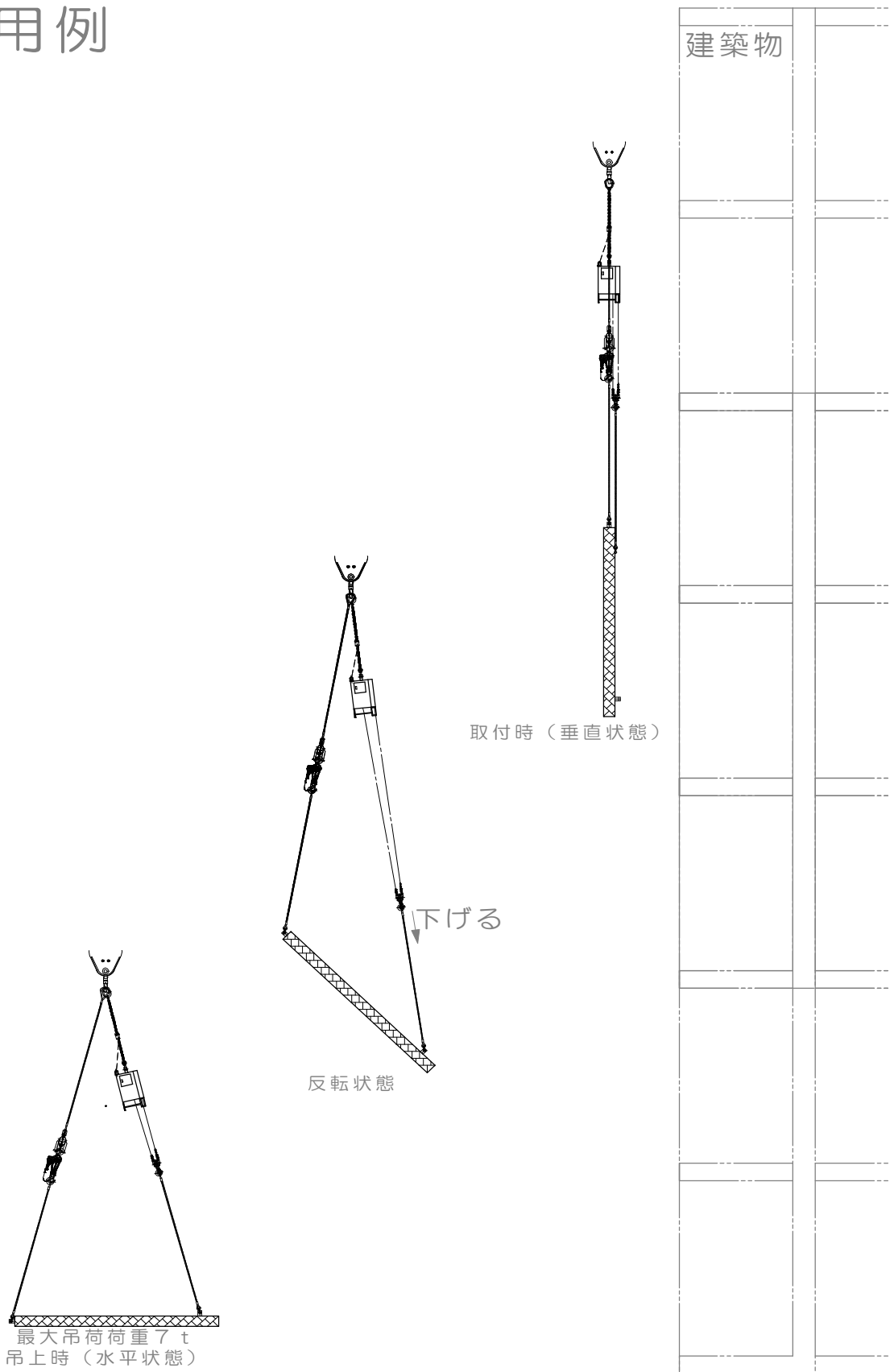
項目	作業内容	順及び施工上の注意点		安全上の注意事項 その他
準備	1. PC板 荷下し	(1) PC板 荷下し後、裏面の荷下ろし用フックのうち、下部のフックは切断しない	こちら側のフックは切断しない	・玉掛用具のチェック ・合図確認
	2. クレーンフックに反転装置・吊りビーム取付	(1) PC板反転装置本体の電気ボックスの電源SWをONにします。 (2) クレーンフックにPC板反転装置・吊りビームを取り付ける。 その際、クレーンフックにかける玉掛けワイヤの順序に注意の事。 (3) 回り止めロープ（バンド）を天秤上部シャックル等に取り付ける。		
	3. PC板 セット	(1) 吊りビームにワイヤ・チェンブロックを取付ける。チェンブロックは吊り上げようインサートに、またPC板反転装置のフックには玉掛けワイヤ（2本）を取付けもう一端はPC板裏面の下部の荷下ろし用フックに玉掛けする。 （逆にしないよう注意） (2) クレーンのフックを少し巻き上げチェンブロックの長さを調整しワイヤを適当な張り具合にする。 (3)EZ転II本体の正面は絶えず三角形（吊具）の外を向くようにセットして下さい チェーンバケットの方向に引っ張りますと危険です。		

項目	作業内容	順及び施工上の注意点	参考図	安全上の注意事項 その他
吊上揚 重	1. PC板 地切り水平 出し	<p>(1) クレーンフックをゆっくり巻き上げ地切りする。 1m位巻き上げた時点でいったん止めPC板反転装置のチェンを多少下げることによりPC板のレベル(水平)をだす。</p> <p>(2) その後、できればPC板をコントロールしPC板反転装置を身体と対峙するような向きにし揚重するとよい。</p>		<p>・ワイヤの張り具合、吊り金具のはずれ引っ掛かりのないことを確認</p>
	2. 吊上げ 揚重	<p>(1) PC板を取り付け階近くまで揚重する。</p>		
反 転	1 PC板反転	<p>(1) PC板が取り付け階近くまで揚重されたら、 作業員1（上階の作業員）がリモコンの下降SWを押す (チェンが巻き下がることによりPC板が反転)</p> <p>反転時間は 通常約1分20秒／5m 通常約3分／12m 一定です。</p>		<p>・安全带使用 ・反転時、下に人が居ないことを確認</p>

項目	作業内容	順及び施工上の注意点	参考図	安全上の注意事項 その他
取付	PC板取付 ワイヤ玉外し	<p>(1) PC板を筐体に仮固定したのち作業員2が荷下ろしフックのシャックルを外す。 その後作業員1がリモコンを操作しPC板反転装置のチェーンを巻き上げ板と筐体の隙間からワイヤを逃がす。</p> <p>(2) レベル、建入り、出入り等の微調整を行い、本溶接を完了した後、吊りインサートを外しPC板反転装置を地上に降ろす。</p> <p>(3) 必要であれば荷下ろし用鉄筋フックを切断する。</p>		<p>・上下の連絡を確実に おこなうこと</p> <p>・火花注意</p>
片付	作業終了 翌日の準備	<p>(1) PC板反転装置を雨のかからない所へ格納する (又はシート等で保護する)</p> <p>(2) 装置本体の電源SWをOFFにする。</p> <p>(3) PC板反転装置の充電器の充電用コードをボックス内より引き出し電源(100V)に接続してください。 (充電時間は約8時間で完了します。)</p> <p>(4) リモコン送信機も同時に充電をしてください。</p>		<p>・終了時毎日忘れずに充電してください。</p>

15.作業流れ図

使用例



水平状態で移動し取り付け時垂直状態にすると風の抵抗を受けにくいです。

16. オプション品 EZ 転Ⅱ用天秤をご使用に当たって

危険 禁止 指示

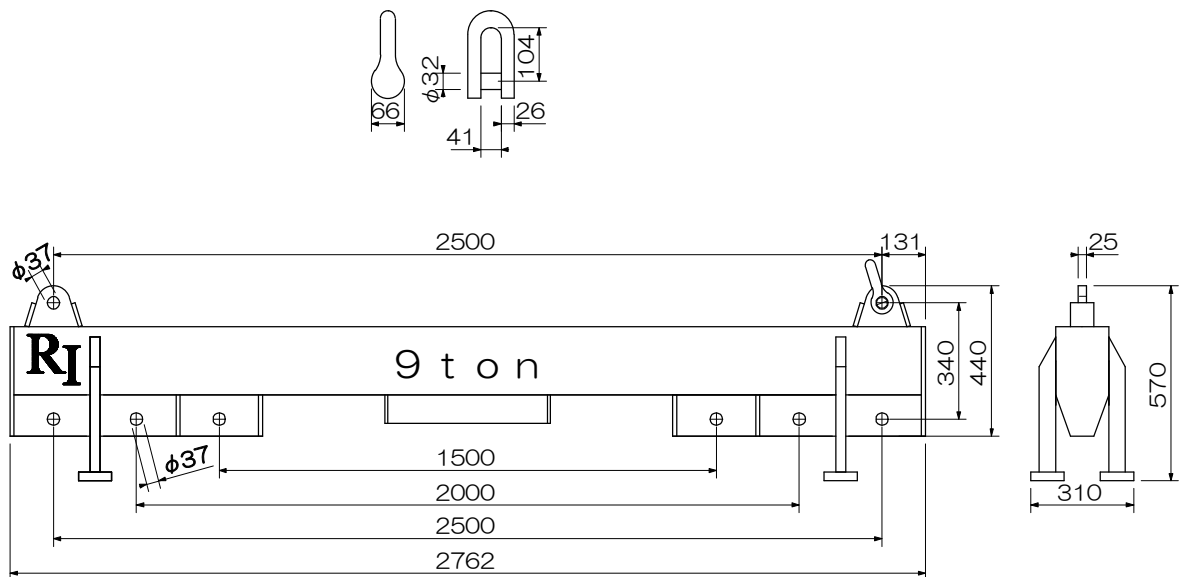
- ◇定格荷重を超える荷は絶対に吊らないでください。9ton (4.5ton×2点吊)
- ◇損傷を受けた天秤を使用しないで下さい。
- ◇天秤本体 (シャックル・ワイヤー含む) に溶接機のアースを接続しないでください。
- ◇天秤本体 (シャックル・ワイヤー含む) に溶接用電極を絶対に接触させないで下さい。
- ◇天秤に取り付けるシャックル・ワイヤー等は、吊り荷に対して十分強度があることを確認して下さい。
- ◇天秤に取り付けるシャックル・ワイヤー等の取付は、必ず左右対称になるように取り付けて下さい。
- ◇玉掛け用具はフック・シャックルなどに正しく掛けてください。

EZ 転Ⅱ用天秤寸法図

BE-9-2500

付属シャックル

概算自重 300kg



BE-9-3500

付属シャックル

概算自重 400kg

